

北海道農業・農村の概要

[令和2年6月 北海道農政部]

北海道農政部より発表されている「北海道農業・農村の概要」の令和2年6月更新分の概要を紹介します。

北海道農業の地位・特徴

●北海道においては、全国の約4分の1の耕地面積を生かし、稲作、畑作、酪農などの土地利用型農業を中心とした生産性の高い農業を展開。

●平成30年の農業産出額は、1兆2,593億円で、全国の13.8%を占める。

●平成29年の北海道の食料自給率は206%（概算値）であり、我が国における食料の安定供給に重要な役割を發揮。また、北海道の農業・農村は食品加工業や観光業など幅広い産業と結びつき、地域経済の活性化等に大きく貢献。

●北海道の1農業経営体当たり耕地面積は、都府県の約13倍にあたる28.5ヘクタール、販売農家に占める主業農家の割合は70.9%と、大規模で専門的な経営を展開。

●北海道は、気象条件や立地条件などの違いから、それぞれの地域において特色ある農業を展開。

北海道農業・農村の動向

●耕地面積は近年横ばいで推移しており、令和元年は114万4,000ヘクタール。

●認定農業者など担い手への農地の利用集積は年々進展し、平成30年度末（平成31年3月）の集積率は91.0%。

●経営規模拡大や頻発・激甚化する異常気象に対応するため、ほ場の大区画化（水田）、起伏修正や排水整備（畑地・草地）などの生産基盤の整備を実施し、農地の生産機能を向上。

●農家戸数は年々減少しており、令和元年の販売農家数は約3万5,000戸。また、農業労働力の高齢化も進行。

●平成30年の農家子弟を含めた新規就農者の総数は529人と前年より減少。なお、農外からの新規参入者は、平成28年以降120人程度で推移。

●認定農業者は、平成5年の制度創設以来、着実に増加していたが、近年は離農や法人化の進展に伴い減少傾向にあり、平成30年度末で、2万9,741経営体。

北海道農業の全国シェア

区分	単位	北海道(A)	全国(B)	A/B(%)	年次
耕地面積	千ha	1,144	4,397	26.0	R1
販売農家戸数	千戸	35.1	1,130.1	3.1	H31
農家人口	千人	128	3,984.4	3.2	H31
農業就業人口	千人	87.9	1,681.1	5.2	H31
農業産出額	億円	12,593	91,283	13.8	H30
食料自給率	%	206	38(37)	—	H29

*資料:農林水産省「耕地面積調査」、「農業構造動態調査」ほか
注:食料自給率はカロリーベースで、全国(B)の()はH30の数値

北海道と都府県の農家の比較

区分	単位	北海道(A)	都府県(B)	A/B(倍)	年次
1農業経営体当たり経営耕地面積	ha	28.5	2.2	13.0	H31
1戸当たり乳用牛飼養頭数	頭	134.2	58.5	2.3	H31
基幹的農業従事者65歳未満割合	%	58.7	28.5	2.1	H31
主業農家数/販売農家数	%	70.9	19.2	3.7	H31
農業依存度	%	92.6	49.1	1.9	H30

*資料:農林水産省「農業構造動態調査」、「畜産統計」ほか
注:基幹的農業従事者…農業就業人口のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している主業農家…農業所得が主で、1年間に60日以上農業に従事している65歳未満がいる農家

北海道農業の地域別特色

区分	特色
道央	稲作を中心に、野菜、軽種馬、肉用牛などの多様な農業
道南	稲作や施設園芸、畑作、果樹などの集約的な農業
道東(十勝・オホーツク)	大規模で機械化された麦、豆、ばれいしょなどの畑作や酪農畜産
道東(釧路・根室)、道北	冷涼な気候を活かした、EU諸国に匹敵する大規模な草地型酪農

注:道央(空知、石狩、胆振、日高、上川、留萌)、道南(後志、渡島、檜山)、道北(宗谷)

耕地面積等の推移(単位:千ha、%)

区分	H12	H17	H22	H29	H30	R1
耕地面積	1,185	1,169	1,156	1,145	1,145	1,144
田	236	228	225	222	222	222
普通畑	414	412	414	416	417	417
牧草地	534	525	514	503	502	502
担い手への利用集積率	58.6	79.4	87.5	90.6	91.0	—

*資料:農林水産省「耕地面積調査」、北海道農政部調べ
注:担い手は認定農業者及び市町村基本構想の水準到達者

水田、畑地・草地の基盤整備状況の推移(単位:%)

区分	H25	H26	H27	H28	H29
水田整備率(1ha以上)	10.6	11.6	12.6	13.6	14.7
畑地・草地排水整備率	61.3	61.5	61.9	62.2	62.4

*資料:農林水産省「農業基盤情報基礎調査」による道推計値

●農地所有適格法人は年々増加しており、平成31年1月1日現在、3,605経営体。

*「農地所有適格法人」は、平成28年4月の農地法の改正に伴い、「農業生産法人」から名称変更

●農外企業等の農業への参入は、農地を所有する農地所有適格法人の設立などにより年々増加し、平成30年で301経営体。（農地を所有する農地所有適格法人:211経営体、農地を賃借する一般法人:90経営体）

●農業産出額では、麦類、雑穀、豆類、いも類、工芸農作物、乳用牛の全国に占める割合が高く、そのうち麦類、豆類、乳用牛は全国の約5割を占める。

*参考 生産量全国1位の品目(H30) 小麦、ソバ、大豆、小豆、ばれいしょ、てん菜、インゲン、タマネギ、生乳 など

●1経営体当たりの農業所得は、稲作収入や畜産収入等が増加したことにより、平成30年は951万円と前年より減少。また、農業所得率についても、平成30年は27.1%と前年より減少。

●平成30年の経営部門別の農業所得は、水田作、畑作、酪農のいずれも前年より減少。所得率についても、全部門において前年より減少。

●クリーン農業の推進成果であるYES!clean登録集団数は、令和元年度で257集団と減少傾向。作付面積も17,424ヘクタールと減少。

●道内各地において、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す、6次産業化の取り組みなどを展開。農業生産関連事業体数は、平成30年現在で3,470件。販売額は1,548億円。

YES!clean登録集団の推移(単位:集団数、ha)

区分	H27	H28	H29	H30	R1
実集団数	334	321	276	263	257
作付面積	17,141	17,600	18,390	17,734	17,424

*資料:北海道クリーン農業推進協議会調べ

農業生産関連事業体数及び販売額(単位:件、億円)

区分	H26	H27	H28	H29	H30
事業体数	3,460	3,440	3,390	3,470	3,470
販売額	1,455	1,506	1,517	1,553	1,548

*資料:農林水産省「6次産業化総合調査」

農家戸数、農業就業人口等の推移[販売農家](単位:戸、人、%)

区分	H12	H17	H22	H29	H30	H31
農家戸数	62,611	51,990	44,050	36,300	35,800	35,100
農家人口	261,160	211,929	172,779	136,000	133,000	128,000
農業就業人口	152,387	131,491	111,324	93,700	89,300	87,900
65歳以上率	31.2	34.1	34.4	38.5	41.2	42.8

*資料:農林水産省「世界農林業センサス」、「農業構造動態調査」
注:農家戸数、農家人口、農業就業人口はすべて販売農家

新規就農者数の推移(単位:人)

区分	H12	H17	H22	H28	H29	H30
新規学卒就農者	343	331	302	181	193	187
Uターン就農者	192	267	337	268	251	225
新規参入者	64	55	61	117	125	117
計	599	653	700	566	569	529

*資料:北海道農政部調べ

認定農業者数、農地所有適格法人数の推移(単位:人、経営体)

区分	H12	H22	H28	H29	H30	H31
認定農業者	13,481	32,823	31,056	30,497	30,146	29,741
農地所有適格法人数	1,794	2,642	3,181	3,302	3,472	3,605

*資料:北海道農政部調べ

農外企業等の農業への参入状況の推移(単位:経営体)

区分	H17	H22	H27	H29	H30
農地を所有する農地所有適格法人	65	119	182	206	211
農地を賃借する一般法人	—	30	72	92	90

*資料:北海道農政部調べ

農業産出額の構成(H30)(単位:億円、%)

区分	北海道	構成比	都道府県合計	構成比	道/合計	順位
農業産出額	12,593	100.0	91,283	100.0	13.8	1
耕種	5,246	41.7	58,079	63.6	9.0	1
米	1,122	8.9	17,513	19.2	6.4	2
麦類	232	1.8	414	0.5	56.0	1
雑穀	29	0.2	94	0.1	30.9	1
豆類	304	2.4	637	0.7	47.7	1
いも類	648	5.1	1,976	2.2	32.8	1
野菜	2,271	18.0	23,212	25.4	9.8	1
果実	54	0.4	8,406	9.2	0.6	36
花き	131	1.0	3,327	3.6	3.9	8
工芸農作物	414	3.3	1,786	2.0	23.2	1
畜産	7,347	58.3	32,589	35.7	22.5	1
肉用牛	1,016	8.1	7,416	8.1	13.7	2
乳用牛	5,026	39.9	9,339	10.2	53.8	1
豚	439	3.5	6,104	6.7	7.2	4
鶏	357	2.8	8,999	9.9	4.0	7

*資料:農林水産省「生産農業所得統計」

農業経済の動向(単位:千円、%)

区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30
農業所得	6,387	6,768	8,507	9,304	11,187	9,507
総所得	7,877	8,122	9,963	10,743	12,510	10,958
農業所得率	25.9	26.0	29.4	30.3	32.4	27.1

*資料:農林水産省「農業経営統計調査」

経営部門別の農業所得(所得率)(単位:千円、%)

区分	水田作	畑作	酪農
H28	6,018(34.6)	9,411(28.8)	21,699(26.2)
H29	7,615(39.4)	13,639(36.2)	25,025(27.7)
H30	5,454(32.6)	12,080(33.0)	20,488(21.8)

*資料:農林水産省「農業経営統計調査」

※この情報は北海道のオープンデータを改変し、利用しています。